

十 先週の献金報告 十

since 1927

2023年 3月 19日

十分の一 : 배명덕 박경선, 김기철, 飯窪和城・淑恵

主日献金 : 41,400

感謝献金 : 배명덕 박경선, 장재원, 블레싱재팬

宣教献金 : 배명덕 박경선, 飯窪和城・淑恵

建築献金 : 배명덕 박경선, 김기철



月/日	礼拝祈禱者	献金奉仕	今月の予定
3/5	權奇周/ 奈良橋暁子	礼拝祈禱者	
3/12	申鉉珪/ 飯窪和城	礼拝祈禱者	
3/19	全星培/ 鈴木睦子	礼拝祈禱者	宗教法人設立会議
3/26	司会者/飯窪淑恵	礼拝祈禱者	

(教会論に基いた牧会哲学)

- ① 教会の主人は、つくりぬし(創造主)であります。
- ② 教会の模範は、イエス・キリストであります。
- ③ 教会の働き手の主体は、聖霊であります。

- ※ ビジョン : 主の約束を信じ行動する「小さなキリスト」
- ※ 使命 : 礼拝(真の礼拝者)、教育(養育と訓練)、宣教(皆が宣教師)
- ※ 価値 : つくりぬしの国とその義

# 東京基督教会

(2023年の重点事項)

- 1) 宗教法人格を取得し感謝礼拝を捧げる。
- 2) 教会堂を宣教の道具として積極的に活用する。
- 3) 迎える創立 100 周年を準備する。

〒162-0842 新宿区市谷砂土原町1-2-59 ☎03-3269-6007

元老牧師 金基哲 担任牧師 裴明德

(동경기독교회는 기독교대한성결교회 소속 입니다.)



1部 한국어예배 (3층,11時) 2部 日本語礼拝 (1階、13時)

司会: 裴明德牧師

「WELCOME」

- 개회 기도 | 開式の祈り 一同
- 개회 찬송 | 開会の賛美 一同  
더 원합니다. 慕い求めます.
- 신앙 고백 | 信仰の告白 一同
- 경배 찬송 | 主を崇め讃え 一同

십자가를 질 수 있다. 약할 때 강함 되시네

十字架の血に(4 5). 我が力なる主

합심 기도 | 一斉の祈り (感謝の告白と祝福を願う)

그가 오신 이유

예배 기도 | 礼拝の祈禱 (換氣) 全星培按手執事/ 鈴木睦子引執事

성경 봉독 | 聖書朗読 로마서(ローマ書) 4 :21-25 司会者  
설 교 | メッセージ 裴明德牧師

주의 죽음과 부활을 믿는 자는 복이 있다

主の死と復活を信じる者は幸いです

- 봉헌및기도 | 捧献&祈禱 奏樂 一同
- 파송 찬송 | 派遣の賛美 1. 마라나타 2. 마라나타 一同
- 축복 기도 | 祝福の祈り 裴明德牧師

교회 소식 | 共同体の交わり 司会者

— 閉会 —



정기 예배 안내 (定期集会の案内)

※ 主日礼拝: 한국어 예배(11시, 교회당 3층), 日本語礼拝(13時, 教会堂 1階)

교회당에 도착하면, 휴대 제품의 Wi-Fi 기능을 꺼 주세요(Wi-Fi Off).

※ ZOOMでのオンライン礼拝 (パスコード: tcc1927)

수요저녁예배 (한국어, ID: 787 1700 3527, 19:20~)

木曜早天礼拝 (日本語, ID: 788 2787 7311, 05:50~)

※ 今週の本文(금주의 본문): 士師記 15-16章 (사사기 15-16장)

①本文을 2~3 回讀む(본문을 2~3 회 읽는다).

②記憶に残るところを書いて置きます(기억에 남는 곳을 기록해 둔다).

※ 聖書の御言葉と共に生きる. 성경 말씀과 함께 합니다.

1) 1年に一讀. 1년에 일독 합니다.

2) 主日の説教をもう一回聴く. 주일 설교를 주 중에 다시 듣습니다.

お知らせ (교회 소식)

1. 皆を主のみ名により祝福します.
2. **募金協力**のお願い: トルコ南部大地震による被災者のために (4月末まで)
3. 4月2日より幼稚少年部を再開します。1部礼拝の時に204号室にて。  
教師: 金ハヨン、裴幹事。親御さんは礼拝が終わるとすぐお迎えください。
4. 今年の復活節のご案内(4月9日)。
  - 1) 特別早天祈禱会: 4月2日~8日、5時55分~6時40分、ZOOM(木曜ID)
  - 2) 復活節: 11時合同礼拝、聖礼典、食事会。
  - 3) 家族そろって守りましょう。
5. **今日 3階礼拝堂にて12時15分から宗教法人設立のための設立会議(設立總會)を開きます。**今年の正会員はご参加ください。委任状は開会の前までご提出ください。(金蘭姫勸土に)。議題: 別紙のとおり(議案 1~7)。
6. **[今週の祈禱]**
  - 1) 宗教法人設立會議のために。
  - 2) 全ての国々のために。(ウクライナ、トルコ、シリアなど)
  - 3) 今週与えられた主の御言葉と生きることができるよう。